

小宝島に暮らす生き物

調べようと思った理由

僕が小宝島で暮らす生き物について調べようと思った理由は、小宝島で、珍しい生き物を見たからです。

1 トカラハブについて

- ・トカラハブは、直射日光が苦手で、すずしい所を好む。
- ・とくにいしがきの穴の中や、木の枝などに多い。
- ・鱗は、普通のハブに比べ少なく見分けることができる。
- ・歯は上下2本ずつ
- ・動物食で小型哺乳類や、ネズミ・小鳥などを捕食する。

噛まれるとどうなるか

毒は普通のハブに比べて、かなり弱い。普通のハブの毒性が10だとすると3の強さ。かまれると3日~1週間寝込み軽い腫れや吐き気、だるさが出るだけで死者はでなかった。他にアナキフィラシーショック、じんましん呼吸困難、腹痛、嘔吐、下痢血圧低下などをともなう。

噛まれたらどうするか

- 噛まれたらすぐに病院または診療所に行く必要がある。人間の血液は体を流れるのが早いので、すぐに毒を抜く必要がある。噛まれたらすぐに痛み出すが落ち着いてむやみに動き回らず、他の人の助けをを求める。噛まれたところは枕などにのせて、心臓より高くする。

診療所にインタビュー

- トカラハブに噛まれたら・・・
- これについて、毒は弱いため抗血清は作られていない。患部に口をあて毒を口で吸って吐き出す。



診療所にて、毒を吸い出すポンプを使ったの解説

2 小宝島で見られる鳥

サシバ

カラスくらいの大きさの中形のタカ。喉は白く、4月から10月に見られる。

ツバメ

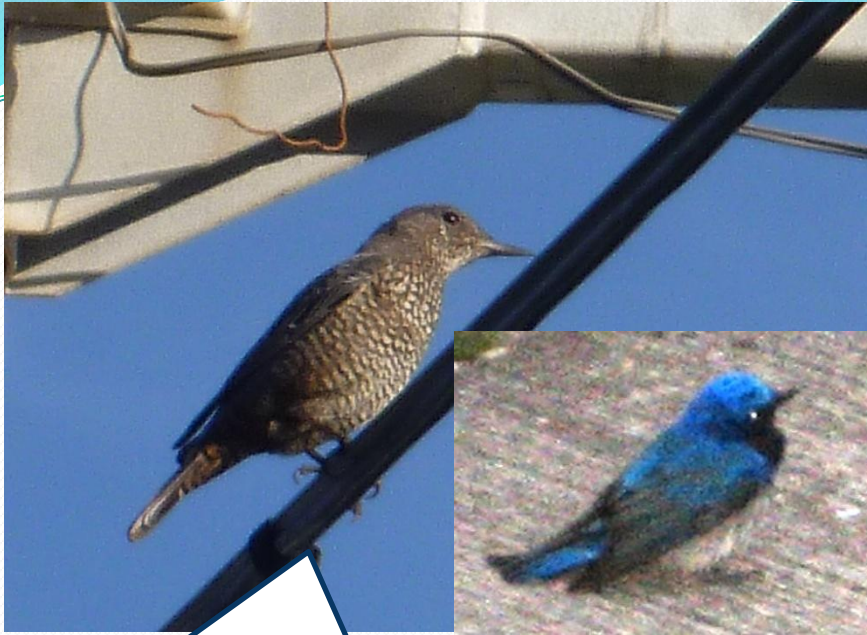
小宝島では春に多く見かける。壁と壁の間を高速で飛んでくる。歩いていると突然横切ったり追い越したりして飛んでくるので怖い。

シラサギ

小宝島では牧場のほか島じゅうに見られる。主に春・夏・秋に見られる。

アマサギ

同じく小宝島で見られる。牧場のあたりに密集している。5月～9月に見られる。



イソヒヨドリ(メス)

小宝島ではよく見かける。上面は灰褐色、下面は黄褐色でうろこ模様がある。オスの体のいろは青と赤い色がある。右下は、オスのイソヒヨドリ。



ツグミ

小宝島では、秋から冬あたりに見かける。たまに校舎の窓にぶつかってくる。

ヤツガシラ

春3～4月などに見られる。頭の羽は、驚いたときや、着地したときに開く。地中にいる幼虫や、ミズなどを食べる。



マヒワ

10～5月頃に見られる。木の枝先や、地上で種子などをついばむ。冬は低地に移る。

調べてわかったこと

トカラハブは、普通のハブと比べて毒が弱いことがわかった。

もしあっても相手に刺激を与えないようにしたい。

小宝島では、渡り鳥が多く飛来してくることがわかった。

終わりに

- 初めてこの島に来たときにおどろいたことは本土とは、まったく環境がちがったことだ。本土では建物や道路、それを利用する自動車が多く、それに対し小宝島は自然が豊かで生き物が数多く生息している。変わった生き物にたくさん出会えたのでよかった。次は島の名所についても調べてみたい。